

編集スタッフ紹介

レシピ執筆

谷口 忍
たにぐちしのぶ



ひより保育園を作る時から給食室をど真ん中で支えてくれている忍先生。

寝る時間あるのかな?と心配になるほど、手間を惜しまずいつもいつも丁寧に仕事に向き合っているらしいです。

加工食品を一切使わないひより保育園の給食室。園児の発達に合わせたアレンジやアレルギー対応食などの調理、片付け、翌日の準備まで含めると毎日かなりの重労働なのですが、季節ごとに旬の食材のイラストを描いてくださったり、イベント前に職員たちにお菓子を焼いてくださったりと「誰かを喜ばせたい!」という気持ちが人一倍強いステキな女性です。

どんなお料理を作らせてもおいしいですが、忍先生の作るスイーツはこれまで食べたどんなお店よりもおいしい。次は是非スイーツのレシピ本を書いてほしいなと密かに企んでいます。

今回のレシピ本は、企画から実際のレシピに起こすところまで、ほとんど忍先生に負んぶに抱っこ状態で作りました。何度もなんども試作して、どうやったら伝わるだろう?と何回も書き直す日々。本当に感謝してもしきれない存在です。

写真

門田 剛
かどたごう



ひよりのムードメーカーであり、今回のレシピ本で料理を本当においしそうに撮ってくれた剛ちゃん。園児たちからは「ごーごー先生」と呼ばれているひより保育園一の人気者です。

園児だけでなく、職員たちのことも普段からよく見てくれていて、感情のゆらぎに誰よりも早く気づき、そっと寄り添いわざと冗談を言って笑わせてくれるありがたい存在。

ひより保育園のSNSで発信している園児たちの写真や動画もほとんど彼の作品。園児たちのキラキラした一瞬をとらえるために地面を這いつくばったり、どろんこになったりしながらシャッターを押してくれています。

普段からコツコツと園児たちとの信頼関係を築いているからこそ撮れる最高のカメラマンです。

※一部の写真はふるかわりさが担当。

保育主任

山本 珠緒
やまもとたまお



ひより保育園の先生方はどなたも本当に素晴らしい。心から園児を愛し、おらかな心で時に厳しく、そしていつも優しく日々の保育をしてくださっています。そんな中で先生方が特に尊敬しているのが珠緒先生(通称:たま先生)。ひより保育園の保育の基盤を作ってくくださった方で、園児たちが大人になる頃のことまで考えて一人一人に丁寧に向き合ってくださいます。

梅干しやお漬物、キムチやお団子といったホッとさせる料理をさせたら天下一品。「子どもたちの親友でありたい」というひより保育園の理念通り、言葉を尽くし、園児と同じ目線で物を見て、共に悩み、学び、考え、笑い飛ばす。とてもチャーミングな、私の憧れの女性の一人です。

園長

白水 純平
しらみずじゅんぺい



「この人がいなかったらひより保育園は出来なかった」と断言できるほど、あらゆる場面で私が最も頼りにしている人、じゅんぺいちゃん。彼と話すといつも新しいアイデアとその解決法が見つかります。ひより保育園を作るために奔走していたある日、「僕が園長をやります!」と、まっすぐ私の目を見て力強く言ってくれた純平さんを思い出すと今でも涙が出てきます。

たまに園に顔を出すと、職員室はからっぽ。「純平さん、いないのかな〜?」と思いつつながら園舎をウロウロしていると汗だくで園児のトイレの介助をしていたり、園児の作った料理をおいしそうに食べていたり。卒園式では園児一人一人に向けてそれぞれ違うメッセージを添えながら証書を渡していたりと、とにかくいつも全力。日本一の園長です。

給食室長

高橋ひろみ
たかはしひろみ



食を真ん中に置いた「ひより保育園」を作るにあたり、この人の他に任せられる人なんていませんでした。実の伯母である高橋に憧れて、小さい頃は「栄養士になりたい」と言っていた私。ひよりの給食も味噌も、本を正せば私たちの実家の味です。

私自身が離乳食に悩んでいた時も高橋のアドバイスに何度も救われました。その時のアドバイスや、2011年ごろから高橋と始めた、私の会社の社員向けのランチ会(無垢食堂)こそが、ひより保育園の種であり、揺るぎない根っこです。いつも「りさはどう思う?」と私を尊重してくれ、自分たちが現場を守るから、あなたは前に進みなさい!と力強く背中を押してくれる存在。一人、また一人と仲間が増えていく過程で、「ひよりの目指す食とは」を繰り返し繰り返し語り継いでくれている人。言わば扇の要です。

監修・本文

古川 理沙
ふるかわりさ



ひより保育園の生みの親。すべての始まりは、りささんが「保育園をつくりたい!」と声をあげて、大きな旗を立てたことからでした。いつもにこやかで、誰に対しても丁寧に向き合い、言葉を尽くし、自分の想いやつくりたい未来像を伝える彼女の姿は、私たちがこう在り続けたいと目指す姿を思い出させてくれます。「りささんの会社の人たちは、楽しそうに働いていますね」と多くの方々から言っただけのことを私は非常に誇らしく思うのですが、保育園の開園を決めてからこれまで、楽しいことばかりではなく、さまざまな苦難の連続の日々でもありました。それでも、職員全員で乗り越え、今回のレシピ本の出版をはじめ新しい価値をつくることに挑戦できているのは、他でもない古川自身が、誰よりもひとつひとつの状況に誠実に対応し、知恵を絞り、そして心から楽しんで、前に進み続けているからです。

(文章:白水純平)

デザイン・イラスト 株式会社スピッカート

園舎もない、スタッフもない、実績もない三重苦だったひより保育園が、こんなにも素晴らしい職員と園児たちで開園の日を迎えられたのは、スピッカートさんのデザイン力があってこそでした。私たちの園に込めたい想いをグューグューと詰め込んだ企画書を深く深く読み込み、丁寧なヒアリングを経て提案してくださったひより保育園のロゴ。一目見たその瞬間、心臓のドキドキが止まらなくなるほど感動しました。大きな屋根の下に、たくさんの形の「人」がいる形が不揃いで、整然と並んでいないのに全体としてはしっかりとまとまっているそのデザインは、私たちの作りたい保育園の姿そのものでした。園舎にはスピッカート代表細尾さんデザインのイラストがあちこちに散りばめられていて、園の空気をよりあたたかいものにしてれています。ひより保育園のホームページもスピッカートさんのデザインです。ぜひ見てくださいね。